

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回吉川市環境審議会
開 催 日 時	令和4年10月28日（金）午前10時から11時10分まで
開 催 場 所	吉川市役所 203会議室
出 席 委 員 氏 名	松崎誠委員、浜本光紹委員、桑本潔委員、斉藤龍司委員、 附田健志委員、田中恵美子委員、大久保本子委員、金田桂子委員
欠 席 委 員 氏 名	
担 当 課 職 員 職 氏 名	市民生活部長 荒川泰弘、環境課長 安室晴紀、 環境課環境保全係長 三城肇、環境課環境保全係主任 小林洵
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	1 開会 2 議題 （1）委嘱書交付 （2）会長・副会長の選出 （3）吉川市の環境について 資料 （4）その他 3 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第 資料 吉川市の環境
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	斉藤委員、大久保委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

<p>1 開 会 事務局</p>	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、令和4年度第1回吉川市環境審議会を開会する。</p> <p>————— 《会議の公開・非公開の決定》 —————</p> <p>本日の会議は全て公開で行う。</p> <p>————— 《定足数確認(会議の成立)》 —————</p> <p>吉川市環境保全条例第77条の規定により、定足数である過半数に達しているため、本日の審議会が成立していることを確認した。</p> <p>また、委員長が決定していないため、議事の進行は事務局が暫定的に行う。</p>
<p>2 議 題 事務局</p>	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>(1) 委嘱書交付 荒川部長より委嘱書の交付。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 会長・副会長の選出 浜本委員を会長、金田委員を副会長に選出。</p>
<p>浜本会長</p>	<p>————— 《署名委員の指名》 —————</p> <p>会議録の署名委員に、斉藤委員と大久保委員の二人を指名。</p>
<p>浜本会長</p>	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>(3) 吉川市の環境について 議題について、事務局より説明をいただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局資料説明（1 公害対策に関すること）】</p>
<p>大久保委員</p>	<p>質疑 二酸化窒素濃度の測定について、資料に示されている測定値はいつのものか。また、加藤・平沼線のライフ付近が交通量も多く、測定が必要かと思われるが、そちらは調査地点になっていないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和3年度に測定したものである。</p> <p>また、二酸化窒素濃度の測定方法として、試薬を常時設置する設備が必要となる。ご指摘いただいた箇所の周辺に市の施設や所有地がないため、調査地点とすることには課題がある。</p>

<p>金田委員</p>	<p>1 ページの資料の地図が古すぎる。地点を表示されているがイメージが湧きづらい。新しいものに更新すべき。</p> <p>小河川水質調査について、大雨の後など水量が多いときなどは測定結果に影響が出てしまうと思われるが、どのように調査しているのか。</p> <p>二酸化窒素濃度や自動車騒音の測定箇所について、毎年同じ地点を測定しては意味がないと感じる。測定地点を見直すべき。</p> <p>令和3年度に市に寄せられた騒音に関する相談は、特定の地域に偏っているのか、また、具体的にどのような内容であったのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料で使用している地図は古いため、次回の審議会資料では地図を更新する。</p> <p>小河川水質調査については、天候不良など測定結果に大きく影響を与えるような要因があった場合は、測定日を調整している。</p> <p>二酸化窒素濃度の測定については、継続的な定点観測が必要と認識している。一方で、まちの姿が変わってきている中で、測定地点の変更等検討が必要であるとも認識している。しかしながら、その際には、試薬を常時設置できる公共施設等の場所が必要となり、かつ交通量が多い箇所、また、今後継続して測定を行う必要がある箇所を選定する必要がある。今後慎重に検討していく。</p> <p>自動車騒音の測定箇所については、道路交通センサスの対象となっている14路線を複数年かけて調査しているので、毎年の測定地点は異なっている。</p> <p>市に寄せられた騒音に関する相談は、特定の地域に偏っているということはない。内容としては、事業者の作業場から出る音に関する相談もあれば、周辺的生活騒音に関する相談もあり、様々である。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、自宅でテレワークをされている方が増えたからか、生活騒音に関する相談が多かった。市では、事業者から出される騒音に対し指導は行うが、生活騒音については、規制がないため、ご相談があった旨を相手方に伝え、配慮を求めるよう促している。</p>
<p>大久保委員</p>	<p>野鳥へのエサやりをしている現場を見かけたことがある。その際には市に連絡したと記憶しているが、市の職員が市内の巡回パトロールをする考えはないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>野鳥へのエサやりは法律で禁止されているものではないため、規制をすることはできない。市にエサやりの相談をいただいた際には、エサやりの行為者が特定できた場合、エサやりそのものに対する指導ではなく、エサやりの結果、フン害などに困っている方がいるとの内容を伝え、</p>

<p>桑本委員</p>	<p>周辺への配慮を求めている。</p> <p>また、他自治体の事例では、野生動物へのエサやりを禁止する条例制定の動きもあったが、動物愛護の観点も踏まえると、単にエサやり行為を禁止する条例制定は難しい。エサやりの結果、生活環境に悪影響を与えることを禁止するといった条例の内容となっている。この事例をみても、野生動物へのエサやり自体を規制することは難しいと考えている。</p> <p>小河川水質調査について、資料にBOD値が示されているが、BOD値を下げるための方策として、DO値を上げることが有効と考えられる。今後、資料にDO値も示していただきたい。</p> <p>二酸化窒素濃度の測定について、季節によって気象状況などにより測定値が大きく変化する。資料に記載している数値はいつ測定された結果なのか。</p> <p>空間放射線量について、吉川市は汚染状況重点調査地域にも指定されていることから、市民の関心も高いと思われる。資料には4年分の数値が記載されているが、原発事故発生時から現在に至るまで、どの程度数値が低減されたのか分かるようにすることで市民も安心できると思われる。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回以降の資料については、DOの数値も記載する。</p> <p>二酸化窒素濃度の測定結果については、年間を通して測定しており、毎月の測定結果を12か月平均したものを記載している。</p> <p>空間放射線量の測定結果については、測定開始時から現在に至るまでの測定結果を市ホームページにおいて公開している。</p>
<p>事務局 斉藤委員</p>	<p style="text-align: center;">【事務局資料説明（2 環境保全に関すること）】 【斉藤委員補足説明（特定外来生物対策について）】</p>
<p>金田委員</p>	<p>質疑</p> <p>住宅用太陽光発電設備設置促進事業について、今後普及をどう図っていくのか。</p> <p>クビアカツヤカミキリについて、市の管理地における薬剤注入などの実績を報告してもらったが、個人宅で被害が発生した際は、どのような対応となるのか。また、市民がクビアカツヤカミキリを認識するために、どのような啓発活動を行っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>住宅用太陽光発電設備設置促進事業については、引き続き、広報や市ホームページで周知を図っていく。また、多くの方の設置のきっかけとなっている「設置事業者による営業活動」は、市の補助金制度を把握し</p>

	<p>た上で行われており、事業者からの補助金の予算残額のお問い合わせが定期的に寄せられている状況である。</p> <p>なお、今年度から太陽光パネルに加えて蓄電池についても補助対象としている。</p> <p>クビアカツヤカミキリによる被害への対応については、市ホームページでクビアカツヤカミキリに関する周知は行っているが、今のところ個人宅での被害は報告されていない。仮に発生した場合は、成虫となったクビアカツヤカミキリの飛散を防止するためのネット設置は市で行おうと考えている。一方、被害樹木への薬剤の注入については、万が一、樹木が枯死した場合に市で責任をとれないため、所有者が自らの責任で行うものと考えている。市販の薬剤でも防除は可能である。</p>
斉藤委員	<p>埼玉県環境科学国際センターを中心に「クビアカツヤカミキリ発見大作戦」を毎年、成虫が活動を始める6月ごろに実施しており、記者発表も行い、各種メディアにも取り上げられている。その中で、クビアカツヤカミキリの特徴や生態についても周知を行っている。</p>
金田委員	<p>環境学習について、対象とした学年は何年生か。</p>
事務局	<p>学校の判断で対象学年を決めているが、今年度は、4年生を対象としたものが多かった。</p>
田中委員	<p>以前は、4年生の総合学習の時間に出前授業として、特定非営利活動法人環の前身である環境ネットワークよしかわが環境学習教室を開催していた。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大等により開催することはできなかったが、今年度も民間企業による環境学習を行っているのか。特定非営利活動法人環にも多様な人材がいるため、ぜひ活用してもらいたい。</p>
事務局	<p>年度当初の校長会において、埼玉県の「環境学習応援隊制度」と市内環境団体が作成した「環境学習メニュー表」の両方を配布しており、その中から学校側で講座内容を選択している。</p>
大久保委員	<p>吉川駅前ロータリーや道路わきの植え込み、緑道などで雑草の繁茂が気になる箇所が多々ある。景観向上や犯罪防止の観点から適切に管理してほしい。</p>
事務局	<p>各施設の管理者にその旨を伝えさせていただく。</p>
	<p>————— 《議事審議》 —————</p>

<p>浜本会長</p> <p>4 閉 会 事務局</p>	<p>(4) その他 議題について、事務局より説明をいただく。</p> <p style="text-align: center;">【事務局参考資料説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市環境保全指針について ・環境行動計画について <p style="text-align: center;">————— 《閉 会》 —————</p> <p>以上で本日の審議会の内容はすべて終了した。これをもって、令和4度第1回吉川市環境審議会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和4年11月 8日</p> <p>署名委員 齊藤 龍司 (自署) 署名委員 大久保 本子 (自署)</p>	